



KANAIWA ONO  
ART PROJECT

# 金石スタジオ 通信

8

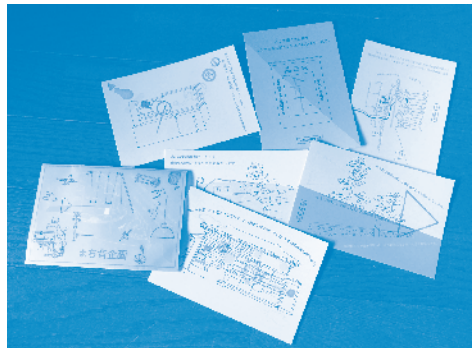
金沢21世紀美術館が進めている金石大野芸術計画(Kanaiwa Ono Art Project)のその活動の拠点となっている金石スタジオ(金石松前町1番16号)から、毎月みなさまに、最新情報をお届けするニュースレターです。

AIR  
アーティスト・  
イン・レジデンス

## 魚住哲宏+ 魚住紀代美

4月〜6月滞在(終了)  
レポート「まち音企画その2  
匿名の話をする」

ベルリン在住のアーティスト・ユニット魚住哲宏+魚住紀代美が二度目の滞在制作で実施したのは、「匿名の話をする」というプロジェクトでした。まちの中でも、特に名前のついていない場所の風景に、特に名前のついていない音を忍び込ませるといって、そやかな作品です。「よくわからない音が鳴っている場所があるな」と気付いた方もいらっしゃるでしょう。「サウンドスポット」と呼ばれる場所は、五月十九日に一つ目が設置された後、六月十三日までの間に、金石町内計八箇所



ポストカード

八つのスポットがどこにあるのかを記した地図はありませんでした。その代わりに、一つスポットが設置されると、その近隣世帯にのみポストカードが届けられ、その存在が知らされました。ポストカードには、スポットの風景と、作家の選んだ言葉が書かれています。たとえ固有名のない「匿名の風景」だったとしても、近くに住んでいて一日に何度もそこを通る人にとっては思い当たる場所かもしれま

せん。そこにいくと日常音に混じって少しだけ違和感のある音が聞こえてきます。



vol.06 湧き水

「踏まれた小石の軋む音が遠ざかっていきます。みんなはどこでどれだけ続かなかつらな音に耳を傾けます。」例えば六つ目のサウンドスポット、道入寺の前の掲示板には、このような言葉が書かれたポスターが貼られました。掲示板の下から伸びたパイプからは、常時水が流れ出ています。現実の流水音と、いくつかの街で録音された日常音が混ざり合っていて聞こえてきます。ポスターに書かれた言葉は、「この湧きは昔と比べると流量量が減っていて、いつ尽きるか

わからない」というご近所の方の声をもとに、魚住さんが発想した言葉です。このように、全てのスポットには、その風景に関係すると同時に、遠くのごかを想像させる言葉が添えられました。

魚住さんたちが昨年から金石で観察し、作品のモチーフにしてきたのは、一貫してどこにでもありそうだけれど、かけがえのない音風景と、その記憶でした。掲示板の下から流れ落ちる湧水の近くに住む人は、その風景をいつも見ているからこそ、流量量や音の変化がわかるのでしょうか。それは、名前はついていないけれど、ここにしかない風景です。魚住さんが影響を受けたという社会学者の岸政彦さ



vol.02 ひまわりの裏口



アーティスト・トーク (6月20日)

んは次のように書いています。「いつも私たちの目の前にあって、いつでもそれに触れることができるにもかかわらず、誰の目にもとまらないもの。世界はそのような無意味な断片が集まってできている。」『断片的なもの(社会学)』  
とても日常的な風景と日常的な音だったので、気づかない人はずっと気づきませんでしたが、気づく人はすぐに気づいて「あそこだなにかが鳴っている」と話をしていました。「匿名の話をする」とは、そのようにとても狭い範囲内で行われる小さな「ミニコミュニケーション」であり、それがまちの各所でパッチワークのように行われている状況にしている作品でした。

七月三十一日までの約二ヶ月半、まちの風景の一部として受け入れてくださり、どうもありがとうございました。(池田あゆみ、金沢21世紀美術館アシスタント・キュレーター)

## 金沢のスターボックス × 淀川テクニク

6〜7月滞在(終了)

六月二十日から丁度一ヶ月かけて作った新作「金沢のケツアール」をスターボックスコーヒー 金沢百番街 Rinto 店の七月十九日の閉店後に設置してきました。モチーフとなったケツアールは、コーヒー豆の産地であるグアテマラの国鳥でもあり、和名をカザリキヌバネドリと呼ばれ、火の鳥のモデルにもなったと言われるような美しい鳥です。メインとなる素材は金沢で集めた「欠けてしまったものや、使われなくなった九谷焼」と金石スタジオから歩いてすぐの金石海岸で拾い集めた「漂流ゴミ」を使いました。金沢市内のスターボックスのパートナーさんや地元の方々と一緒にビークリーンをしたり、声を掛け合って使われなくなった九

谷焼を集めてもらったりすることで、素材だけでなく、金沢の人々の繋がりで生まれたケツアールなど実感しています。(淀川テクニク)



まちに待ったアートが、店舗に飾られました。ケツアールが力強く羽ばたく姿は、毎日お店に彩りと豊かさを与えてくれます！また、お客様もお店の仲間達もその姿に魅了されています。アート制作にご協力頂いた皆様との出会い、熱い想いを、ケツアールと共に、これからも大切にしていきたいです。是非ケツアールに会いに来てください！美味しいコーヒーとお待ちしています。(河合真紀子、スターボックスコーヒー 金沢百番街 Rinto 店)

## PP パブリック・プログラム

### ★週末屋台 出展募集

金石スタジオでは誰でも店長になれる週末屋台を行っています。取り組みをはじめ一年が経ち、レモン屋・雑貨屋・紙芝居屋・駄菓子屋・水族館屋など、様々な屋台が登場しました。ご自宅ですていた手芸や料理教室のお披露目の場として利用されたり、子どもが主体的に営業するお店も出てきました。

週末屋台はやりたいこと応援する取り組みです。出展者随時募集中！貴方も屋台の店長になってみませんか。



### 〈出展までの流れ〉

- ① 美術館に連絡する  
jichiku.com@gmail.com
- ② スタッフへの声掛けでも可  
※スタッフでスタッフと面談する
- ③ 出展する日時を決める(土曜日)の出展を推奨しています、別日を希望される場合はスタッフに相談してください
- ④ 出展する。終了後、参加人数を美術館に報告する。

### 〈出展料〉

無料

### 〈貸し出し備品〉

テント、机、椅子、黒板(立て看板程度のサイズ)など

### ※全て無料

### 〈注意点〉

- ※週末屋台は新たに活動を始める方を応援する取り組みです
- ※主催者は出店者になります。申請が必要な場合(模擬店届など)はご自身で行ってください
- ※スタッフとの事前面談を必ず行ってください、内容によっては出展をお断りする場合があります
- ※利用者に年齢制限はありません

### 金石・大野周遊シャトルバス

金沢駅から金沢港クルーズターミナルを経由して金沢港周辺地域を巡るシャトルバスが期間限定で運行します。

運行日：7月17日(土)〜9月26日(土)・日・祝 運賃：1

日乗車券/大人(中学生以上)

700円、子ども(小学生)

350円、小学生

未滿は無料 ※詳細はWEBへ

詳しくはWEBへ

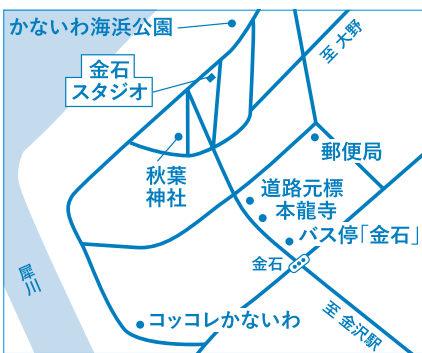


### 金石スタジオ

金石松前町1番16号

バス停「金石」から歩いて5分、海岸通り沿いです。公共交通機関や徒歩、自転車などをご利用ください。

スタッフ常駐は、毎週土曜の14時〜17時です。



金石スタジオ  
情報発信中



Instagram



facebook